



のべおか



市議会だより

第52号

平成24年8月1日発行
(2012年)

発行:延岡市議会
編集:広報・広聴特別委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1
TEL(0982)22-7029



庁舎建て替え前、最後の定例会の様子

6月定例会の概要

6月定例会は、6月4日に招集され、6月22日までの会期で行われました。

今議会で審議された議案等は、平成24年度延岡市一般会計補正予算、延岡市税条例や延岡市国民健康保険条例の一部改正など議案10件と、意見書2件、陳情4件でした。

また、一般質問では3日間で15名が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、新庁舎建設や行財政改革、地域安全施策や農林振興、中学校再編計画など、多岐にわたる質疑が活発になされました。

そして、最終日の本会議において、議案や意見書案件をいずれも原案通り可決し、陳情をいずれも継続審査としたほか、3件の報告を受け、閉会しました。

主な掲載内容

(ページ)

- ◆ 6月議会で決まったこと…………… 2
- ◆ 一般質問…………… 3～6
- ◆ 5月臨時会報告、新しい議会構成…………… 7
- ◆ 議会に関するアンケート実施報告、編集後記など…………… 8

平成24年度 6月補正予算一覧表

会計別	補正前	補正額	合計
一般会計	537億1300万0千円	7550万8千円	537億8850万8千円

6月議会で決まったこと

予算関係

条例関係

《主な補正内容》

- **森林整備加速化・林業再生事業** 5901万5千円（新規）
高性能の林業機械の導入費用に対する助成。
- **自治公民館施設等整備助成事業** 500万円（新規）
自治宝くじコミュニティ助成事業を活用し、自治公民館の屋外放送設備の整備費用を助成する。

◆平成23年度延岡市繰越明許費繰越計算書の報告

告

- ◆財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車）
- ◆市道の路線認定（8路線）
- ◆和解及び損害賠償の額の決定（塵芥車事故）

その他の議案

- ◆監査委員の選任（安藤辰男氏）
- ◆固定資産評価審査委員会委員の選任（甲斐勝吉氏）
- ◆人権擁護委員候補者の推薦（池田拓二氏、甲斐棋哲氏）

人事関係

- ◆延岡市税条例の一部改正
- ◆延岡市国民健康保険条例の一部改正

意見書

- ◆平成23年度延岡市水道事業会計予算繰越計算書の報告
- ◆平成23年度延岡市下水道事業会計予算繰越計算書の報告

【陳情の審議結果】

件名	審議結果
公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情	継続審査
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出に関する陳情	継続審査
国民の権利を支える行政サービスの確保を求める意見書提出に関する陳情	継続審査
川水流・岡元両やなの架設に対する公費助成を求める陳情	継続審査

- ◆「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書
- ◆30人以下学級の実現と教育予算の拡充を求める意見書

所管事務調査項目	委員会名	調査項目	委員会名	調査項目
	平成24年度 常任委員会の 所管事務調査項目	総務財政	・地域公共交通体制づくりの促進について ・遊休資産の活用について	経済環境
都市建設		・橋梁長寿命化修繕計画について ・市営住宅の保全計画について ・安全、安心な上水道の水処理について	福祉教育	・子育て環境づくりについて ・学力向上について

佐藤議長から表彰状を受け取る高木議員（左）



5月23日に東京都で開催された第88回全国市議会議長会定期総会において、多年にわたる地方自治の進展に寄与した功績により、高木益夫議員が全国市議会議長会表彰（10年勤続議員表彰）を受けました。

6月定例会開会日に、議場で表彰伝達等が行われ、高木議員は「身に余る光栄です。これからも延岡のために少しでもお役にたきたい」とあいさつしました。

全国市議会議長会表彰

15名の議員が登壇

一般質問

市政に関する内容について、3日間にわたり活発な議論を展開しました。その一部を紹介いたします。

登壇議員

【質問順】

夫毅男郎洋志一 満広利佐子 誠樹俊
 益 満戦泰大賢 治信美理幸 英仁
 木上田野杉藤瀬野田田友藤田部
 高三松矢上佐早河平上内長佐下本

総務財政関係



新庁舎の建設方法

【問】延岡産材の利活用は。
 【答】地元産材の活用は、ぬくもりのある空間づくりや林業振興にもなるため、実施設計の中で詳細をまとめていく。

新庁舎の駐車場

【問】新庁舎の駐車場は、道路横断が困難なお年寄りにとって危険であり、悪天候時の乳幼児健診においても赤ちゃんを抱えながらの横断が困難であると思われるが。
 【答】南玄関前は駐車場としての整備は行わないが、今後、さまざまな状況を想定し、検討したい。

新庁舎工事の発注

【問】過去2件の大型事業では、入札方式のあり方で物議

をかもした経緯がある。新庁舎建設工事の発注については総合評価一般競争入札ではなく、現庁舎解体工事と同様の条件付一般競争入札で行うべきと考えるが。

【答】発注方式については、検討委員会を立ち上げ、さまざまな視点から検討していただき、議論の結果等については最大限尊重したい。

地下貯蔵タンクの保守管理

【問】新庁舎の自家発電設備燃料用地下貯蔵タンクの保守管理は。
 【答】7日分使用できる自家発電用燃料A重油4万リットル貯蔵の地下タンクは、消防法の規制に基づき、危険物取扱者と定期点検が必要になる。
 このため、専門業者への

保守管理委託についても視野に入れながら検討を進めている。

高速道路開通後の取り組み

【問】開通のメリット、デメリットの分析と、観光振興や地元経済浮揚の好期を活かすための課題と対応は。
 【答】物流が活発になり、企業誘致の上でも有利となる。一方、購買力の流出や通過市とならない対策に取り組む。



▲建設中の東九州自動車道(須美江IC付近)

第6次行財政改革

【問】昨年度の取り組みの評価は。
 【答】65項目のうち63項目で何らかの取り組みを行っており、残り2項目についても取り組みを進めていく。

第3セクターの人事

【問】公募制が導入されているが、現時点における公募施設名と応募者数は。
 【答】公募制を導入した団体は、現時点での4団体に加え、新たにリサイクルプラザ「ゲン丸館」館長ポストの公募に2名の申し込みがあった。その他「北川はゆま」の支配人の募集に対し、49名の申し込みがあった。公募制の導入により、民間の優秀な人材の活用や市政の公平性、透明性の確保につながったと考えている。

職員の手続き手当の廃止

【問】職員の持ち家手当は月々千円支給されているが、国は廃止され、全国の地方自治体の57%が廃止している。住宅を購入すると3年間は固定資産税が減免され、ローンを組むと10年間は税金が安くなる。それに加えて公金から手当が支給されている。廃止の検討は。
 【答】今後、国や県の状況を踏まえながら対応する。

アルコールチェック

【問】公用車乗務前のアルコールチェックの実施状況は。
 【答】現在、アルコールチェック検知器を配置し、個人による自主的なチェックを行っている。今後は乗務前のチェックを行いたい。



▲アルコール検知器



市政情報の発信

【問】フェイスブックの今後の取り扱いは。

【答】個人としての利用は大変魅力的であると思うが、本市のような人口規模の自治体においては運用上の課題も多く、現状ではホームページを中心とした情報発信を考えている。

男性の育児休暇取得

【問】少子化対策として男性の育児参加は重要であると考えますが、市役所における男性職員の育児休暇の取得状況は。

【答】これまでに1名が取得した実績があるが、今後も取得しやすい職場環境づくりに努める。

災害時の物資備蓄

【問】災害時における備蓄倉庫も含めた避難所の物資備蓄の状況は。

【答】現在、コミュニケーションセンターや支所など10カ所に分散し、5カ年計画で飲料水など災害用物資の備蓄を進め、加えて民間のスーパリーなど57社と災害時の応援協定を締結した。

脱原発への取り組み

【問】未来の子どものために脱原発の実現が重要と考えるが。

【答】原発政策を見直すにあたっては、新たなエネルギー政策の構築とあわせて慎重な検討を行い、長期的な方向性を明らかにした上で、必要な措置を講じていかなければならない。

原発再稼働

【問】原発再稼働問題に関する市長の所見は。

【答】国民の危機感も深まっております。再稼働にあたっては国の責任で万全の安全対策を講じるだけでなく、地域住民への説明と理解を得た上で慎重な判断が求められる。

市県民税等の納付方法

【問】市県民税や固定資産税、国民健康保険税を年12回納付にしては。

【答】相談があれば、年12回を最長に柔軟な対応をしている。

元気がたうら協議会

【問】町内の代表者が発起人となり設立されたが、今後の展開によっては新たな財

政支援も必要であると考え

【答】昨年度より事業費を倍増するなど拡充を図ってきた「元気のいい三北地域づくり支援事業」や「市民まちづくり活動支援事業」などを有効に活用してほしい。

野口記念館の老朽化

【問】野口記念館の建て替えは。



▲ 野口記念館

【答】財政状況を十分に考慮し、優先事業を選択していく必要がある。今後については、老朽化していることや新庁舎と城山周辺の景観の面からも、市民や関係者の意見を踏まえながら検討を進めていく必要がある。

わかあゆ支援学校跡地

【問】交通アクセスのよい

「わかあゆ支援学校」の跡地が、子育ての拠点として最適であると思うが。

【答】費用対効果の面から

都市建設関係

個人住宅の耐震化

【問】個人住宅の耐震診断や改修工事の補助制度の周知方策は。

【答】市のホームページや広報へ掲載するとともに、住まいや防災に関するイベント、講習会において周知を図っている。

市営住宅の連帯保証人

【問】市営住宅の連帯保証人

も検討を行い、できるだけ早い段階で方向性を出していきたい。



になった当初は保証能力があっても、時間の経過とともに収入状況等が変化すると。家賃見直しの際、定期的な保証人である旨の通知やチェックを行っては。

【答】連帯保証人には滞納が発生しない限り通知されない。債務などを自覚していただくことが非常に大切であると考え。今後、連帯保証人への通知について検討する。

経済環境関係

海外企業誘致の推進

【問】東九州自動車道の開通や、細島港の重点港湾指定といったインフラ整備を呼び水に、国内企業はもとより、中国・韓国・台湾などの海外企業誘致の考えは。

【答】日本貿易振興機構の話では、まず自国からの製品の販売拠点を整備してか

鮎やなの振興

ら、製造拠点の整備を行う方法が多く、ある程度の期間が必要となる。

【問】鮎やなに対して毎年多額の補助を行うのであれば、観光協会の経営を厳しく審査する必要があると思う。また、将来的に鮎やなを民間で運営できるような力



強い活動が必要であると思
うが、その取り組みは。
【答】観光協会としっかりと
連携を図りつつ、指導責任
を果たさなければならな
い。今後は、市民全体で鮎や
な事業を支えるような取り
組みを進め、伝統鮎やなの
保存に努めたい。



▲ 延岡水郷やな

延岡駅周辺の安全

【問】新駅ビルの周辺は市民
の憩いの場となる。安心・安
全のため、駅ビルや自由通
路、階段、エレベーター等に
監視カメラや防犯ベルを設
置しては。

【答】監視カメラや防犯ベル
など安心・安全を考慮した
施設整備は大変重要であ
る。JR九州や宮崎交通な
どと協議を行い、設計の段

階で検討したい。

ビーチの森すみえの 安全対策

【問】利用客が増加する中、
信号機の設置が必要である
と思うが。

【答】延岡警察署へ昨年8月
と今年5月に要望した。今
後も粘り強く要望し、路面
表示等の対策についても働
きかける。

雇用創出

【問】今後の企業誘致における
トップセールスについては。

【答】東九州自動車道や細島
港の整備などで、より重層
的かつ機動的な企業誘致活
動が可能になった。本市が
生まれ変わる絶好の機会と
して、先頭に立って全身全
霊を尽くしたい。



▲ 企業誘致の象徴であるクリアパーク延岡

空き家条例の制定

【問】空き家の増加は、景観
の悪化や防災防犯機能の低
下等、市の生活環境に大き
な影響を及ぼしているが、
空き家対策条例の制定は。

【答】管理されていない空き
家は、周辺住民の生活環境に
大きな影響を及ぼしており、
全国的な社会問題となつて
いる。このため、空き家問題
を市の課題として関係する
部署で「空き家・廃屋対策会
議」を設置し、空き家条例の
制定も含め検討したい。

船倉地区の防犯対策

【問】防犯カメラの設置が必
要では。

【答】繁華街の防犯カメラ
は、プライベートシーの保護な
どが配慮されれば、犯罪防
止の面から欠かせないの
で、十分検討したい。

農業法人の設立

【問】農業法人設立の取り組
みについては。

【答】農業法人の設立につ
いては随時相談を受け付けて
いるが、専門的な知識も必要
であることから、セミナー等
の案内をしている。今後、J
Aや農業改良普及センター
など関係機関と連携した組

織化を検討している。

農畜産の振興

【問】口蹄疫や価格下落等の
影響で、肉用牛頭数や農家数
が減少している。導入制度等
の見直しをすべきでは。

【答】家畜増殖資金、補助金
について、生産環境も変化す
るので、JA延岡や生産者を
交えて検討する。

学校給食の地産地消

【問】直売所を通じて学校給

食に地元産食材の活用を拡
大しては。

【答】学校や直売所などの関
係機関と、食材の量や規格
などを協議し、地元産食材
の利用拡大に努めたい。

口蹄疫の影響

【問】発生前と比較した畜産
農業戸数と出荷額の推移は。

【答】戸数で57戸減少し、出
荷額で3千979万円減少
している。率にして2%の
減少となっている。

福祉教育関係

小中学校再編計画の目的

【問】平成27年4月までに、市
内の小中学校のうち15校を
6校に統合する再編計画が
発表されたが、その目的は。

【答】児童生徒が大幅に減少
し、学校の小規模化が進む
なかで、子どもたちにか
に良い教育環境を整えるか
という観点から計画した。

児童生徒が増えることによ
る複式授業の解消や、異学
年の交流を通して多様な考
え方に触れる機会に恵まれ
ること、学習活動や学校行
事が活性化することなどの

効果を期待している。

小中学校再編計画の進め方

【問】校区ごとのわかりやす
い行程表の必要性は。

【答】準備協議会、専門部会
を設置するとともに、地区
の状況に応じた行程表を作
成することになっている。

小中学校再編計画の反応

【問】この計画に対する地元
の理解、再編後の児童生徒や
地域への影響とその対応は。

【答】保護者や地域の方々へ
の説明会を実施し、学校存続





の思いを子どもの将来に託すことでご理解いただきたい。通学時間の問題や一貫校の検討事項、地域振興などについては、各校の中小一貫校開校準備協議会において検討する。

延岡しろやま支援学校

【問】現在、支援学級で学んでいる子どもが「しろやま支援学校」への転学を希望した場合の対応と、連携は。
 【答】在学する学校において、本人の状態や保護者の意向などをもとに適切かどうかを検討し、転学が適切であると判断した場合、市教育委員会にその旨が伝え

られ、本市としての総合的な判断を行う。その上で県教育委員会への転学通知を行うことになる。

学校徴収金

【問】PTA会費を学校運営経費に流用する記事が出たが、本市における対応は。
 【答】公立小中学校の管理運営経費は市が負担すべきものであり、PTAの寄付は自発的な意志で行われなければならない。今後にも必要な予算確保に努めていく。

通学路の安全対策

【問】全国で、通学途中の交通事故が立て続けに発生し

ている。事故防止に関する、本市の危険箇所の把握と対策は。
 【答】今年4月に、すべての小中学校に対して調査を実施している。危険箇所については、安全に通学できる環境整備を進めていく。

災害図上訓練の活用

【問】幼稚園等の職員を対象に実施された図上訓練で得た問題点と対策は。
 【答】子育て施設災害研修会で幼稚園等の職員を対象に図上訓練を実施し、防災力の向上を図った。その中で、施設が沿岸部に隣接していることや、避難場所・経路などさまざまな問題を得た。対策として「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」を活用した施設ごとの図上訓練を実施し、

防災の強化を図る。

陸上競技場の照明設置

【問】消防防災拠点整備等のアプローチから照明設備の設置は。



▲ 西階陸上競技場

【答】今後、老朽化対策や機能向上、防災拠点施設としての機能充実に向け、整備手法を調査研究する。

生活保護

【問】不正受給問題をきっかけに、大幅な削減を進める動きが出ているが、生活保護のあり方をどう思うか。

【答】生活保護は最低生活保障の最後のよりどころであり、制度が十分に機能することが市民生活の安心と社会の安定には重要である。今後、生活に困っている方に必要な援助を速やかに

行いたい。

ひとり親家庭の生活支援策

【問】経済的・環境的に追いつめられた母子・父子家庭への適切な生活支援策が重要であると考えるが。

【答】児童扶養手当の支給、医療費の助成のほか、一時的に日常の家事を支援する事業を案内している。また、母子家庭で安定した収入を確保するための資格を取得する場合に、訓練促進費を支給する事業も実施している。

【用語解説】

【注1】フェイスブック：9億人以上が参加しているインターネット上の交流サービス。実名参加が条件なので、友人や知人が見つけやすい。テキストや写真の投稿、メッセージの交換、施設へのチェックインなど多彩な機能が用意されている。

【注2】図上訓練：地図を用いて行う訓練。主に災害に関する訓練を行うことが多い。危険が予測される地域や事態を書き込みながら、災害対策を検討し、参加者間で共有することができる。

本会議は市民の皆様にご覧されています。

議場は中小企業振興センターに移動します

定例会及び臨時会の本会議は傍聴することができます。

中小企業振興センター3階議場の傍聴席から、明日の延岡を創造する議会と市当局とのやりとりを見てみませんか。

また、一般質問の様子はケーブルテレビでも生中継されていますのでご覧ください。

その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

- 傍聴席 約60席(予定)
- テレビ放映 ケーブルメディアワイワイ (111チャンネル)
- 会議録検索システム www.kensakusystem.jp/nobeoka/index.html



▲ 図上訓練の様子

5月臨時会の報告

5月7日(月)に第6回臨時会が開かれました

今回は、公平委員会委員の選任や専決処分などの議案4件と報告1件が審議され、いずれも原案どおり可決・承認しました。

また、副議長の選挙や、常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任なども行われました。

◆監査委員の選任(矢野戦一郎氏)

◆その他の議案

◆専決処分の承認(延岡市税条例の一部改正)

◆専決処分の承認(延岡市国民健康保険税条例の一部改正)

人事関係

【議案等】

◆公平委員会委員の選任(後藤 泰氏)



副議長 就任あいさつ

副議長 小田 忠良

5月の臨時会において副議長を拝命いたしました。

現在、わが国は長引く不況や、東日本大震災と原発事故の影響等で日本経済も大変厳しい状況となり、国の進む方向さえ指すことができない状態となっております。このような中にあっても地方自治体としましては、独自の施策立案により、安心・安全なまちづくりのため、常に前進しなければなりません。

議会としましては、議長が掲げております議会改革、特に議会基本条例の制定について全議員で取り組んでおります。これにより、市民に開かれた、市民と共に活動する議会となっていくものと確信しているところでございます。今後とも、市民の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

◆専決処分の報告(物損事故に伴う和解及び損害賠償額の決定)

報告

新しい議会 構成の紹介

5月臨時会において決定した、新しい議会の構成は左記のとおりです。

正副議長 及び 監査委員

議長 佐藤 勉
副議長 小田 忠良
監査委員 矢野戦一郎

常任委員会

◆総務財政委員会

委員長 稲田 雅之
副委員長 西原 茂樹
委員 早瀬 賢一
委員 佐藤 大志
委員 平田 信広
委員 松田 和己
委員 小田 忠良

◆都市建設委員会

委員長 太田 龍

副委員長 甲斐 正幸
委員 佐藤 誠
委員 矢野戦一郎
委員 稲田 和利
委員 高木 益夫
委員 上田 美利

◆経済環境委員会

委員長 河野 治満
副委員長 松田 満男
委員 三上 毅
委員 葛城 隆信
委員 上杉 泰洋
委員 熊本 貞司
委員 佐藤 裕臣

◆福祉教育委員会

委員長 本部 仁俊
副委員長 内田 理佐
委員 長友 幸子
委員 下田 英樹
委員 小野 正二
委員 白石 良盛
委員 中城あかね

議会運営委員会

委員長 佐藤 誠
副委員長 高木 益夫
委員 甲斐 正幸

委員 太田 龍
委員 本部 仁俊
委員 西原 茂樹
委員 熊本 貞司
委員 稲田 雅之

特別委員会

◆議会基本条例制定特別委員会

委員長 上田 美利
副委員長 本部 仁俊
委員 三上 毅
委員 佐藤 大志
委員 平田 信広
委員 河野 治満
委員 稲田 和利
委員 小田 忠良
委員 佐藤 裕臣

◆広報・広聴特別委員会

委員長 早瀬 賢一
副委員長 内田 理佐
委員 長友 幸子
委員 小野 正二
委員 白石 良盛
委員 甲斐 正幸
委員 葛城 隆信
委員 上杉 泰洋



市議会に関するアンケートを実施

議会改革と開かれた議会づくりを目指して

本市議会では、これまでの議会改革をもとに、新たな議会づくりの根幹としての基本条例制定に向けて取り組んでいきます。今回、調査検討の一つとして市民の皆様のご意見を改革に反映しようと「市議会に関するアンケート調査」を実施しました。

調査から見えてくること

調査方法や主な内容は左表のとおりです。その他、平成21年度から始めたシテイミーティング／議会活動報告会や、今年度から始めた議会基本条例の制定に向けた取り組みについては83%の方々に評価いただきました。

アンケート概要

◆ 調査の方法と状況

- 調査期間…平成23年11月～24年3月
- 調査地域…延岡市全域
- 調査対象…20歳以上の市民
- 調査方法…訪問による無記名アンケート（個人、企業、団体等）
- 調査項目…議会への評価、関心度、定数、報酬、政務調査費、要望など
- 依頼数…3,427人
- 回収数…2,854人(回収率83.3%)

◆ (質問より)議会に求めるもの

- | | |
|--------------------------------|-----|
| ①市民と対話する議会(意見交換会・懇談会等) | 18% |
| ②議員の資質向上 | 17% |
| ③わかりやすい情報提供
(ホームページ、議会だより等) | 16% |
| ④議員定数、議員報酬などの検討 | 15% |
| ⑤議会の行政チェック機能の強化 | 14% |
| ⑥議会から行政への政策や制度の提案 | 12% |

中央道の早期実現を目指して



7月17日に熊本県御船町で九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会総会・決起大会が開催され、本市議会を含む沿線12市町議会の議員や、国・県の来賓など約300人が出席しました。

大会では、命の道として機能するための評価基準を重視することなどを要望する大会決議を採択したほか、中央道の早期実現を目指して国土交通省などに提言することを決定しました。

また、今までシテイミーティングに参加したことがあると回答された方は27%しかありませんでした。また、議会だよりについても、読んでいる方が85%いたものの、読まない方の68%が「興味が無い」と回答しており、今後の議会のあり方について課題が山積していることを感じるところです。

なお、アンケート結果については、市役所本庁、支所で配置しているほか、市のホームページにも掲載し

ています。

開かれた議会を目指して

本市議会は、今回のアンケート調査をもとに、これまでの議会改革と市民に開かれた議会づくりに取り組んでいきます。今後とも本市議会へのご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートにご協力いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

編集後記

「ありがとう、市議会議場」

市議会議場

昭和30年に建設された市庁舎は、老朽化や耐震性の問題により新しく建設されます。今年8月より撤去工事が始まるため、今期定例会が現在の議場での最後の議会となりました。

この議場では、本市の行政に関する多くの審議がなされました。私たち議員も多くの思い出があり、取り壊されるのは非常に寂しい思いです。

9月定例会から新庁舎完成までは、中小企業振興センターで議会が開催されます。当面は狭い場所での開催になりますが、市民の皆様の手助けとして当局と熱のこもった議論を行いたいと思っております。多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

次の定例会は9月に予定されています。第53号は11月初旬に発行する予定です。